

QSK にぬふあぶし

No.273

ね
子の方向の星



読谷村精神療養者家族会
視察研修報告 ～私宅監置小屋～

2019年8月8日(木)

読谷村家族会
津嘉山一枝



読谷村家族会の糸数勉会長、當山幸子副会長、糸数瞳、津嘉山一枝の4名は、沖福連の山田会長の案内で「私宅監置小屋」を見に行きました。

途中、金武町の家族会の皆さんと合流し現場に向かいました。

そこは、村外れでたくさんの木々が立ち並び、小川が流れていました。家族が住んでいたと思われる廃居がありその少し離れた所に小さな「私宅監置小屋」がありました。

こんな小さな小屋に何年も入れられていたとは・・・

どんなに苦しかったことか！

悲しかったことか！

淋しかったことか！

何も好きでこの病気になったのではない・・・

政府にも病院にも見捨てられて、家族も大変苦しく、悲しかったことでしょう。



沖縄では、日本復帰の年(1972年)に私宅監置の制度が廃止され、小屋から解放され病院などに収容されたそうです。

それまで、たくさんの方々が人権侵害され見殺しにされ、本当に気の毒に思いました。もう二度とこのようなことがないよう願っています。帰り道にお墓があり、皆でお墓参りをしました。

第6回こころんピック 沖縄県精神障がい者 ソフトバレーボール大会



参加チーム募集！！

日程：2020年2月5日（水）～7日（金）

時間：11：00～16：00（予定）

場所：沖縄県総合運動公園体育館（沖縄市比屋根5-3-1）

★参加費：病院・診療所チーム 10,000円

福祉事業所・地域活動支援センターチーム 5,000円

※（監督会議の日に徴収：日程については後日ご案内）

★複数事業所等の合同チーム参加可。

★男女混成チームの6人制です。

★優勝チームは、九州大会への派遣があります。

【参加申込期間】10月31日（金）（17時まで受付）

【問い合わせ】公益社団法人沖縄県精神保健福祉会

電話：098-889-4011（担当：廣田、大城、比嘉）

* ボランティア大募集！！

ひとりでも多くの皆様のご協力おねがいたします

主催：沖縄県、沖縄県精神保健福祉会連合会

協力：沖縄県バリアフリーバレーボール協会、

沖縄県ソフトバレーボール連盟、

沖縄県障害者スポーツ協会、県内大学生（ボランティア）

第62回総会 沖縄大会

日本病院・地域精神医学会 市民公開講座

10月12日(土) 11時~12時半

参加費：無 料

場所：ているる(那覇市西3-11-1) 1Fホール

「監置小屋が問う精神保健のいまと明日」

座 長 高橋 年男 沖縄県精神保健福祉会連合会

ドキュメント上映 原 義和 TVフリーディレクター

証 言 瑞慶山 良光 監置体験者

監置小屋が問う精神保健のいまと明日 山城 紀子 フリーライター

私宅監置と精神障害当事者の地域生活

—精神障害当事者が安心して送れる地域生活と新しい可能性—

高原 里緒 北部自立生活センター 希輝々障害当事者スタッフ

日本で唯一、沖縄北部やんばるに残る私宅監置の「牢屋(ろうや)」。遺構を保存しようと、活動が始まっている。この小屋が、沖縄戦の地獄と米軍統治下に突き落とされた沖縄の精神医療の歴史を物語るものだからだ。遺構は、「この邦に生まれたるの不幸」(呉秀三)を映す鏡であり、保存活動はこの告発に答える道でもある。

一方、「村の恥を晒すな」と地元の空気は重い。だが牢込(ろうぐみ)を恥じ、人道に反するものだと捉えているのだから、互いの理解の前提はすでに共有されている。

“うちあたい”というウチナー口がある。他人に向かって発せられる言動が、自分にとっても思い当たる節があり、後ろめたい、落ち着かないという心理だが、ヨコ社会の沖縄ならではの内発的変革のキーワードではなかるうか? “恥辱はすでに革命である。”

歴史を伝える小屋を残すことは、心のなかの見えない檻をも可視化する。精神保健医療の今を問い、明日の針路を照らし出す。

グループホームだより

先日、グループホームの利用者Aさんが、長年愛用していたガラケーからスマートフォンへ機種変更しました。

あまり変化や刺激を求めないタイプのAさんが、スマートフォンに変えた理由は、携帯会社側の都合で『今後ガラケーは利用できなくなる』という致し方ない理由からでした。

Aさんの使用していたガラケーは10年以上もの間、一度も故障することがなかったそうで、とても大切に扱われていたのがわかります。

「今後も使いたかった・・・。」と、とても残念そうなAさんを見ていて、私まで少し悲しくなっていました。

愛着があるガラケーから卒業する寂しさと、スマートフォンは面倒で難しそうという不安でいっぱいだった様ですが、手続きを終えて初のスマホを持ち帰ったAさんは、数日後にはYouTubeで動画を楽しみ、有名人のブログをチェックしたりとスマホ生活をとても楽しんでいらっしゃいました。驚きです。

先日は私の知らない芸能ニュースを教えてくれて、「スマホって便利だね。」と笑っていらっしゃいました。なんだかその笑顔がまぶしくて…。Aさんが楽しそうで本当に良かった。



時代の流れで色々な事が少しずつ変わっていき、そして私たち人間もそれに併せて変化していく。今回Aさんの日常生活に素晴らしい変化が起きたことをとても嬉しく思います。

グループホーム泡瀬 江洲香代子

◎編集後記◎

先日、悪寒がしたので近所の薬屋さんに相談。すると薬剤師の方から、漢方薬入り滋養強壮剤のお湯割りを店内で作って頂きました。すると身体がジワッと暖かくなり、悪寒が吹き飛んだ!! さらに鼻息フンフン! 走りた気持ち止まらない! (か)

編集：公益社団法人
沖縄県精神保健福祉会
会長 山田 圭吾
〒901-1104
南風原町字宮平 206-1
てるしのワークセンター内
電話 098-889-4011 FAX098-888-5655
E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp
発行：九州障害者定期刊行物協会
〒812-0054 福岡市東区馬出 2-2-18
電話 092-753-9722 FAX 092-753-9723
定価：10円(会費に含まれる)